

M O N T H L Y

vol.25

U P

枝葉のように延びていくPDFの可能性



# 誰でも、 どんな環境でも見ることができる。 単純だけドスゴイこと。

1992年、アドビシステムズが発表したPDF。

10年の間にDTP、Web、データベースなど様々なシーンに浸透していきました。

今回はこのPDFについてご紹介します。

PDFと聞いても、**まだまだ?** という方も多いかもしれません。PDF (Portable Document Format) とは、アドビシステムズが開発した電子文書フォーマット。文書データ作成に使われたアプリケーションやプラットフォームの種類を問わず、テキストや画像、デザインなどをオリジナル通りに再現できるファイルフォーマットなのです。たとえば、Illustratorというソフトで作った原稿データを取引先に渡す場合、通常、先方がソフトを持っていなければデータ内容を確認することはできません。しかし、原稿データをPDFファイルに変換しておけば、無償で配布されているAdobe Reader (旧名Adobe Acrobat Reader) を使ってデータを見たり、プリントすることが可能になるわけです。つまりデータのやり取りにおいて、OSやアプリケーションの支配から逃れられるということ。どのような環境でもデータのやり取りができるPDFは、企業内のドキュメント管理から電子ブック、プリプレスに至るまで、さまざまな分野の市場に進出しています。PDFファイルを作成するためにはAdobe Acrobatが必要になりますが、Adobe Readerさえあればデータを開くことは可能。Adobe Readerは無料ということもあり、現在までに5億本以上が配布されています。

ハードの環境に縛られない、PDFファイル。利点は他にもいろいろとあります。まずPDFに変換することでファイルサイズがコンパクトになること。このためファイルを添付してeメールの送受信を行ってもストレスがかからず、特にWeb環境でその威力を発揮します。というのは、リンクを埋め込んだ連鎖的なファイル、サウンドやムービーを組み

合わせたインタラクティブな情報など、電子文書の特長を活かした書類が、軽いデータで配信できるためです。今後インターネットの普及を背景に、PDFを使用したカタログやマニュアルの配信、出版、オンラインショッピングなど、用途もますます広がっていくでしょう。また記録の保存や管理においても最適。紙では検索に時間がかかり、スペースも取ってしまいます。データのままで元の文書を作成したアプリケーションが必要。そこでPDFファイルにすることで、検索が容易なうえ、Adobe Readerがあればいつでも誰でも閲覧、再利用が可能になります。その他にも印刷物と同時にPDFファイルを作り、Webと相互補完する形でプロモーションを展開したり、過去に使用したパンフレットなどのデータをPDF化して運用すれば、低コストで新たな市場を開拓することができます。

印刷の世界にもPDFによる校正や入稿など、新たなワークフローが生まれつつあります。しかし画面を見ながらの修正指示は難しく、書体によっては文字が置き換わってしまうものもあるようです。これでは全体のデザインと文章の確認程度の校正しかできません。また入稿に際しては、データを作る側にDTPや印刷の詳しい知識がないとトラブルを招くこともあります。まだまだ課題もありますが、今後PDFを有効に使ったワークスタイルやビジネスが確立されてくるはず。

PDFに興味を持たれた方は当社のホームページを覗いてみて下さい。マンスリーアップのバックナンバーをPDFで配布しております。ぜひご一読を。



<http://www.sezax.co.jp>

本社・工場	〒146-0091 大田区鶴の木2-9-7	TEL03(3758)2511(代)	FAX03(3758)2754	
		営業専用	FAX03(3758)2544	
渋谷コア	〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1 渋谷オミビル6F	TEL03(3400)9211(代)	FAX03(3409)7315	
		5F	TEL03(3400)9401(代)	FAX03(5468)9253
マニュアル企画部	〒146-0091 大田区鶴の木2-9-7	TEL03(3758)2591(代)	FAX03(5482)2777	
下丸子工場	〒146-0092 大田区下丸子2-20-4	TEL03(3758)2516(代)	FAX03(3758)8850	

株式会社セザックスクリエイティヴ

〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1 渋谷オミビル2F TEL03(3409)4970(代) FAX03(3409)2732

株式会社セザックスインターナショナル

〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1 渋谷オミビル2F TEL03(3409)0527(代) FAX03(3409)6610



この小冊子には環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

この小冊子は再生紙を使用しています。